

暖地・温暖地向きの高消化性で紫斑点病に強い ソルガム新品種「夏太郎」

目的と特徴

- 高消化性遺伝子 (bmr-18) を持つために非高消化性品種より推定TDN含量が高い品種です。
- 暖地・温暖地では8月中旬までに1番草を収穫することで、2番草も晩秋に出穂し、2番草の乾物収量が優れています。
- 紫斑点病が発生しやすい地域で能力を発揮できます。



SUX109-1

秋立

※夏太郎の育成系統名：SUX109-1



(拡大)

SUX109-1
(紫斑点病抵抗性)秋立
(紫斑点病罹病性)

紫斑点病菌を接種した1番草(8月24日撮影、九州研)

2番草が
多収紫斑点病
に強い

SUX109-1

秋立

2番草(11月6日撮影、九州研)

暖地では、
年間乾物収量 2.300/10a
年間TDN収量 1.500/10a

成果

- 熟期は中生で、5月播種で8月上～中旬に出穂し、「秋立」より約10日早いです。
- 暖地・温暖地での年間の乾物収量は「秋立」より2割増です。
- 紫斑点病の病斑は認められません。
- 推定TDN含量は高消化性品種「秋立」並で、年間のTDN収量は「秋立」より多収です。

「SUX109-1」の主要特性

特 性	調査場所数	SUX109-1	秋立
早晚性()内は1番草の出穂月日	4	中生 (8.7)	晩生 (8.18)
1番草の乾物収量 (kg/a)内は「秋立」比%	4	130.2 (103)	126.2 (100)
◎ 2番草の乾物収量 (kg/a)内は「秋立」比%	3	95.4 (154)	61.8 (100)
年間乾物収量 (kg/a)内は「秋立」比%	4	165.9 (111)	149.3 (100)
◎ 1番草の乾物率 (%)	4	28.0	24.6
◎ 2番草の乾物率 (%)	3	21.0	17.7
◎ 1番草の茎葉の推定TDN含量(乾物中%) ²⁾	1	65.4	63.6
◎ 初期生育 (1:不良~9:良)	4	6.8	5.5
稈 長 (cm)	2	248	226
稈 径 (mm)	2	16.7	17.4
◎ 刈り取り2週間後の再生草丈 (cm)	1	69.5	52.7

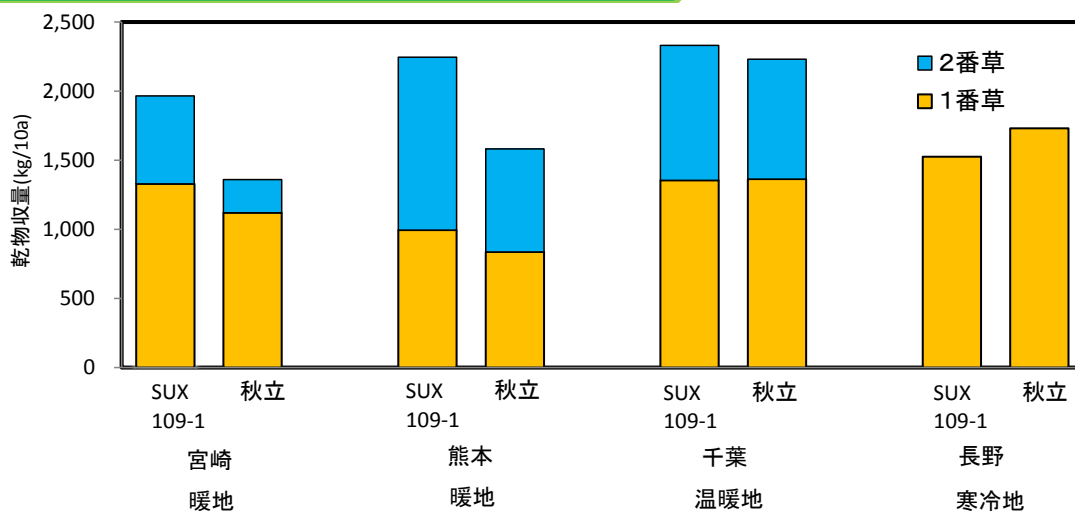
1) 2011~2012年の平均

2) 近赤外分析による基づき次式で推定。TDN=OCC+Oa+5.34・e0.0334・Ob-8.83。

セールスポイント

- ・2番草が多収
- ・乾物率が高いためにサイレージ調製がしやすい
- ・初期生育や再生性に優れる

試験地別の番草別の乾物収量(2011-2012年)



対象作物、普及対象

- ・ソルガム、暖地・温暖地

対象農家

- ・自給飼料生産を行っている畜産・耕種農家

播種量

- ・コーンハーベスター利用体系で10a当たり2kgです。

その他

- ・著しいアブラムシが発生した場合や発生しやすい地域では早めに収穫してください。
- ・市販種子は増殖中で、農家への供給は2016年以降となります。